

12月

園長だより



もう12月ですが、さすが沖縄、まだまだ温かいですね！11月末には半袖でも少し汗ばむ日もありました。12月と言えばクリスマス、そして年末ですね。すでにスーパーやコンビニなどではクリスマスケーキの予約や、クリスマスプレゼントの宣伝がなされ、これからクリスマス商戦に入ろうとしています。クリスマスを祝うことは日本でも一般的になり、多くの方が祝うようになってきています。

皆様ご存知だと思いますが、クリスマスはキリストの誕生をお祝いする日です。今回はそのキリスト誕生について少し考えてみたいと思います。聖書には、キリストは神であったのに人となり、地上に来られた、ということが書かれています。聖書にはこのような言葉があります。「『見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう』。これは、『神われらと共にいます』という意味である。」(マタイ1:23) 私たちは時に、神様はいるのかな、いるとしても何か遠く離れている存在だな、と考えるかもしれません。しかし聖書によると、神様は私たちと共におられる神様なのです。イエス・キリストは赤ちゃんとして生まれました。赤ちゃんは自分で食べることもできず、おむつを替えることもできず、成長するまでの間、すべてのことを両親に頼らなければならない存在です。聖書は神様であられた方が、私たち人間と共にいるために、その赤ちゃんになり、イスラエルのベツレヘムという町でお生まれになったと記しているのです。

保育園のクリスマス会の降誕劇でキリスト誕生の話を目にされると思いますが、キリスト誕生時にその姿を見た人はイエスの両親であったマリヤとヨセフ、羊飼いたち、そして東方からの博士だけであったと聖書には記録されています。しかもキリストは馬小屋で生まれたのです。このようにキリストは神様であったのに、身を引くくし、この地上に来られたのです。

イエス・キリストは「キリストは神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして僕の身分になり、人間と同じ者になりました。

(フィリピ2:6~7)」と聖書は言っています。「君は愛されるため生まれた」という歌がありますが、聖書では神様が人間を愛してくださっており、その愛のゆえに、人となられ、地上に来られたということが記されています。

プレゼントを贈ったり、おいしいケーキを食べたり、家族と過ごしたりし、このクリスマスの季節を楽しんでいただきたいと思います。しかし、このクリスマスには、その誕生をお祝いしているイエス・キリストのことをもう少し知っていただければな、と思います。そして、聖書には、神様が皆様を愛しておられるということが書かれているのを覚えていただければと思います。メリークリスマス！



2017年11月30日

石川三育保育園 園長 ミラージュエル